

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月12日（月）

2 確認箇所

フランジタンク解体部材一時保管施設②

3 確認項目

フランジタンク解体部材一時保管施設②の現況

4 確認結果の概要

前回（平成30年11月5日）に引き続き、今回は、フランジタンク解体部材一時保管施設②における仮置き状況を確認した。

- ・当該施設は、鉄骨に白色のテントを被せたものでできており、目視した限り、テントに破れはなく、雨水が流入するおそれは認められなかった。（写真1）
- ・施設内には、フランジタンク解体作業時に発生したガレキ等の放射性廃棄物が鋼製のコンテナやフレコンバックに収納されて仮置きされており、タンク解体片は仮置きされていなかった。（写真2）
- ・以前はH4タンクエリアで回収された汚染土壌が入ったフレコンバックが仮置きされていたが、撤去されていた。
- ・目視した限り、仮置きできるスペースは十分あり、廃棄物等が飛散、流出している状況は認められなかった。



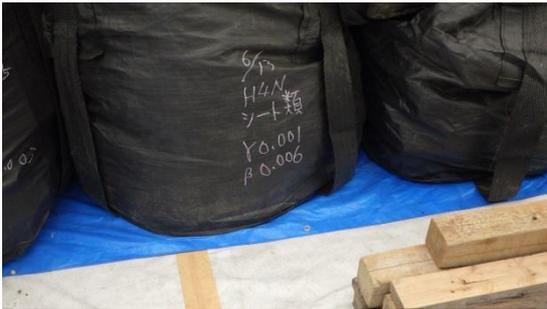
（写真1-1）



（写真1-2）



(写真 2 - 1)



(写真 2 - 2)

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。